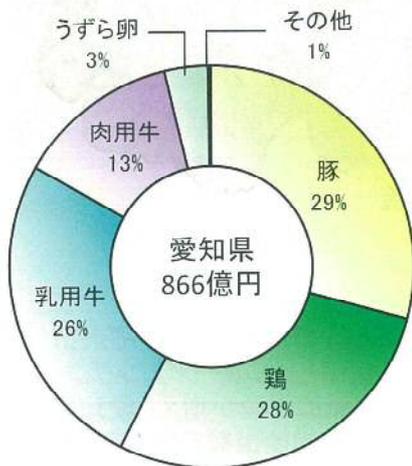


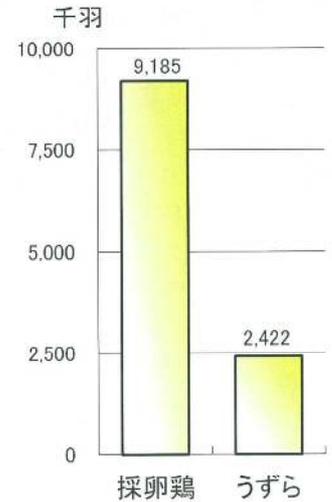
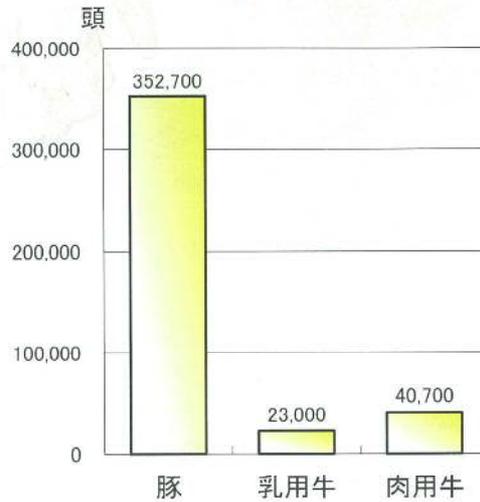
8 畜産

愛知県の畜産は豚、鶏、乳用牛、及び肉用牛が盛んな他、うずら卵や、地鶏ブランドである名古屋コーチンも特産品として盛んに生産されています。地域別には、東三河及び知多が主要な産地です。

畜産の品目別産出額構成比



畜産の品目別飼養頭羽数



豚



- ①産出額 253億円
全国9位(シェア4.1%)
- ②飼養頭数 352,700頭
- ③主な生産地
田原市 豊橋市 西尾市
- ④愛知県では、おいしい豚肉を消費者へ提供できるよう、発育や肉質に優れる優秀な親豚を県の農業総合試験場で開発し、畜産総合センターで育成したのち県内の生産者に供給しています。
この親豚からつくられた豚肉は『愛とん』と呼ばれ親しまれており、愛知県の品質の高い様々なブランド豚生産につながっています。

鶏



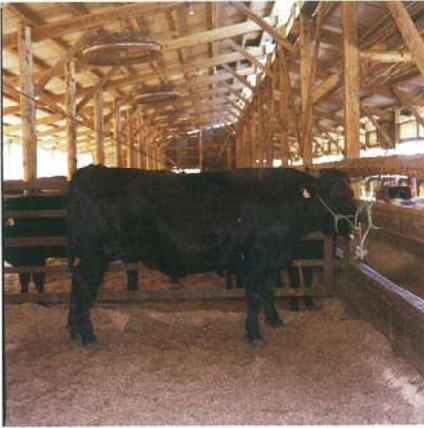
- ①産出額 245億円
(うち鶏卵 204億円)
全国 11位(シェア2.7%)
(鶏卵 6位(4.2%))
- ②飼養羽数(採卵鶏) 9,185千羽
- ③主な生産地(鶏卵)
新城市 田原市 常滑市
- ④愛知の養鶏は、江戸時代末期に尾張藩士が副業として始め、その後明治末期から大正にかけて飛躍的に発展し、長年にわたり、養鶏王国として知られています。
特に都市近郊では、卵の直売を行う家族経営体が多いのが特徴です。プリンなど卵を使ったスイーツの加工・販売に取り組む養鶏農家もあります。

乳用牛



- ①産出額 223億円
(うち生乳 189億円)
全国 7位(シェア2.4%)
(生乳 7位(2.5%))
- ②飼養頭数 23,000頭
- ③主な生産地
田原市 半田市 豊橋市
- ④愛知県は酪農が盛んで、大規模農家が多いことが特徴です。
また、搾乳をする一方で、交雑牛を生産・肥育して牛肉生産も行う、乳肉複合経営体が多くいます。
県内には乳業工場も多く、搾乳する生乳は、新鮮なうちに工場に運ばれます。学校の給食で提供される牛乳には、すべて愛知県産が使われています。

肉用牛



①産出額 113億円
全国19位(シェア1.5%)

②飼養頭数 40,700頭

③主な生産地

田原市 半田市 豊橋市

④愛知県では、和牛生産に力を入れており、愛知県の和牛ブランド「みかわ牛」は、他県ブランドに負けない品質を誇っています。

また、酪農家が乳用雌牛に和牛を交配して交雑牛を生産する「乳肉複合経営」が非常に多く、交雑牛だけの飼養頭数は、全国第3位となっています。「知多牛」、「あつみ牛」といった交雑牛の地域ブランドもあります。

みかわ牛^{うし}



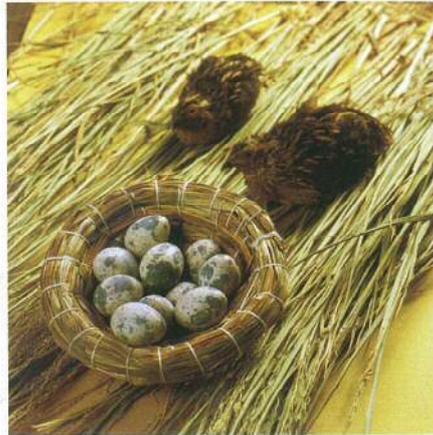
◎主な定義 肉質等級4等級以上
県内で1年以上肥育
県内食肉市場に出荷

◎出荷頭数 約2,700頭/年

「みかわ牛」は愛知県の和牛ブランドで、三河地域を中心に県内各地で生産されています。生産者、食肉業者、団体、行政で構成される「みかわ牛銘柄推進協議会」が中心となって、ブランドの付加価値向上に取り組んでいます。

肉質4等級以上に厳選された、柔らかく、サシの入った濃厚な味わいが特徴です。

うずら卵



①産出額 30億円
全国1位(シェア63.8%)

②飼養羽数 2,422千羽

③主な生産地

豊橋市 豊川市 阿久比町

④うずらは、鎌倉時代には既に家きんとして飼育されていたと言われています。大正時代以降本格的な改良が行われ、実用的なニホンウズラが作出されました。

愛知県は、豊橋市、豊川市など東三河地域を中心として、全国の50%以上を飼育する日本一の生産地となっています。

うずら卵は、生卵のほか、約半部分が水煮や燻製などに加工され、全国に出荷されています。

養蜂



①産出額 3億円
全国7位(シェア3.7%)

②飼育群数 5,100群

③主な生産地 県内全域

④蜜蜂は、蜂蜜、ローヤルゼリー等の生産のみならず、果樹やいちご、メロン等の園芸作物の花粉交配を担うポリネーターとしても重要な役割を持っています。

本県では、クロガネモチ、アカシア、ミカン、ソヨゴなどの蜜源植物が多く利用されています。

名古屋コーチン



①産出額 17億円
全国1位

②飼養羽数 296千羽

③主な生産地

豊橋市 田原市 東栄町

④名古屋コーチンは明治初期、元尾張藩士が、在来の地鶏と中国のパフコーチンを交配して作出しました。昭和の半ばには、海外から安価なブロイラーが輸入されたことで羽数が激減しましたが、品種改良等、その後の関係者の努力により復活を果たし、現在では肉用種と卵用種が、多くの養鶏農家で飼育されています。

3月10日は「名古屋コーチンの日」として認定されており、関係イベントが行われています。

名古屋競馬場



○主催者 愛知県競馬組合

○2019年馬券売上額 412億円

「金シャチけいばNAGOYA」の愛称で親しまれ、「名古屋グランプリ(Jpn II)」など3つのダートグレード競走を実施している競馬場です。

場内ではみそかつ、どてめし、きしめんなど「名古屋めし」をレースとともに楽しむことができます。

現在、建物の老朽化等に伴い弥富市への競馬場移転事業を進めており、2022年4月に開業する予定です。

9 愛知の農業用水

愛知県は、木曾川・矢作川・豊川の三大河川にはぐくまれた肥沃な平野が拓け、これら河川の豊富な水を利用して古くから大規模な農業用水が開発されてきました。また、戦後には、愛知用水・豊川用水などに代表される近代的な大規模用水の整備が行われ、全国有数の愛知県農業を支えてきました。

現在では、これら農業用水の恵みを良好な形で未来に引き継いでいくため、長期的視野に立ち、農業水利施設の計画的整備を進めています。

【木曾川水系】

○宮田用水

- ・主な受益地域 尾張西部
- ・受益面積 6,550ha
- ・取水開始 1608年
- ・主な水源 木曾川自流

○木津用水

- ・主な受益地域 尾張北部
- ・受益面積 1,694ha
- ・取水開始 1650年
- ・主な水源 木曾川自流

【木曾川水系】

○木曾川用水

- ・主な受益地域 海部
- ・受益面積 6,273ha
- ・取水開始 1646年
(佐屋川開削)
- ・主な水源 木曾川自流

【木曾川水系】

○愛知用水

- ・主な受益地域 尾張東部、知多
- ・受益面積 14,596ha
- ・取水開始 1961年
- ・主な水源 牧尾ダム



宮田用水の受益地



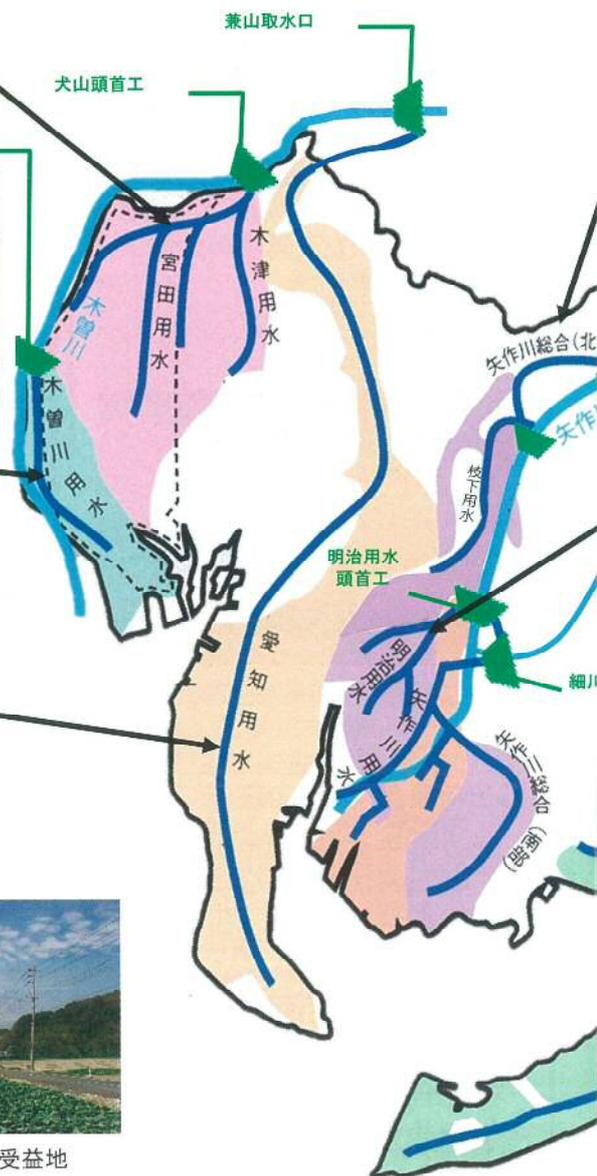
木曾川大堰



愛知用水幹線水路



愛知用水の受益地



【矢作川水系】

○矢作川総合用水(北部)

- ・主な受益地域 豊田加茂
- ・受益面積 682ha
- ・取水開始 1979年
- ・主な水源 矢作ダム

○明治用水

- ・主な受益地域 西三河
- ・受益面積 4,759ha
- ・取水開始 1880年
- ・主な水源 矢作川自流 (矢作ダム)

○枝下用水

- ・主な受益地域 豊田加茂
- ・受益面積 1,582ha
- ・取水開始 1884年
- ・主な水源 矢作川自流 (矢作ダム)

○矢作川総合用水(南部)

- ・主な受益地域 西三河
- ・受益面積 1,006ha
- ・取水開始 1985年
- ・主な水源 矢作ダム



明治用水頭首工

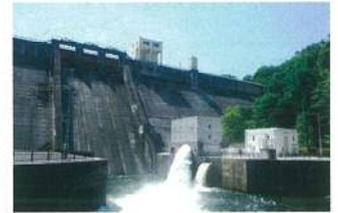


矢作川用水の受益地

【矢作川水系】

○矢作川用水

- ・主な受益地域 西三河
- ・受益面積 6,019ha
- ・取水開始 1963年
- ・主な水源 羽布ダム



羽布ダム



大島ダム



豊川用水の受益地

【豊川水系】

○豊川用水

- ・主な受益地域 東三河
- ・受益面積 15,350ha
- ・取水開始 1968年
- ・主な水源 豊川自流 (宇連ダム・大島ダム)

○松原用水

- ・主な受益地域 東三河
- ・受益面積 641ha
- ・取水開始 1567年
- ・主な水源 豊川自流 (宇連ダム・大島ダム)

○牟呂用水

- ・主な受益地域 東三河
- ・受益面積 970ha
- ・取水開始 1888年
- ・主な水源 豊川自流 (宇連ダム・大島ダム)



牟呂松原頭首工

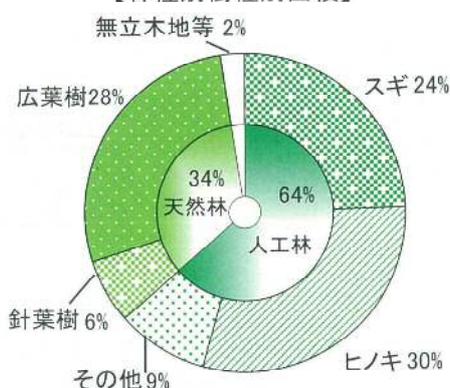
10 林業

愛知県の県土の約40%は森林で、そのうち人工林は約60%となっています。人工林の多くは利用期を迎えていることから、充実した森林資源を生かす「循環型林業」を推進しています。また、森林の持つ公益的機能を維持・増進するため、県独自の取組である「あいち森と緑づくり事業」などにより、間伐を始めとする森林整備を進めています。

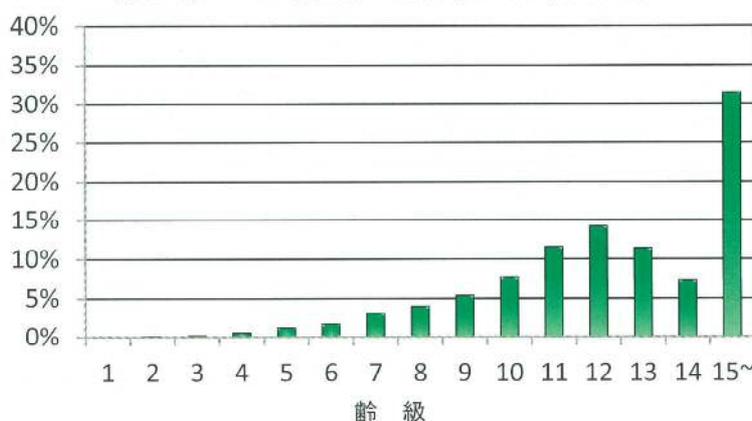
森林資源

本県は218,053haの森林を有し、そのうち民有林が206,650haとなっています。地域森林計画対象森林の人工林率は63.6%と全国平均の45.6%を大きく上回っています。樹種については、スギ24%、ヒノキ30%、広葉樹が28%となっています。また、スギ、ヒノキ人工林については、主伐の対象となる10齢級以上(46年生以上)が82.9%と大きな割合を占め、資源の成熟が進んでいます。

【林種別樹種別面積】



【愛知県の人工林資源の齢級構成(面積割合)】



林業産出額

2018年次の本県の林業産出額は30.6億円で前年の28.9億円から1.7億円の増加となりました。木材生産は前年の17.6億円から20.4%増加し21.2億円となったほか、栽培きのこ類は10.1億円から12.8%減少し、8.8億円となっています。

資料：農林水産省統計部
生産林業所得統計

順位	2018年次	(億円)
1位	長野県	(594)
2位	新潟県	(468)
3位	北海道	(477)
4位	宮崎県	(291)
5位	岩手県	(197)
33位	愛知県	(31)

木材産業

本県は東海地方の木材の集散地であったことや、大きな木材港があったこと、大消費地が控えていたことなどから、木材の流通・加工の拠点となっており、特に木製品の出荷額は全国的に上位にあります。2018年次の木材・木製品出荷額は、130,038百万円と、全国4位の位置にあり、全国シェアの5.4%を占めます。

また、製材品出荷量は6万9千m³となっています。

【木材・木製品出荷額】

順位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
1位	静岡県	静岡県	茨城県	静岡県	静岡県	茨城県
2位	茨城県	茨城県	静岡県	北海道	北海道	北海道
3位	北海道	北海道	北海道	茨城県	茨城県	静岡県
4位	愛知県	広島県	広島県	愛知県	愛知県	愛知県
5位	広島県	愛知県	愛知県	広島県	広島県	広島県

資料：経済産業省調査統計部工業統計調査(産業編)
2015年次は経済センサス活動調査(産業編)

県産木材の利用促進

県産木材のうち、愛知県内で産出されたことを、愛知県産材認証機構の認定事業者が証明した素材、製材品、木製品を「あいち認証材」と認定し、イベント等におけるPRやあいち認証材CO₂貯蔵量認定制度、あいち木づかい表彰制度により、普及啓発、利用促進を図っています。

【第3回あいち木づかい表彰（2019） 建築物 最優秀賞】
大口町立北保育園（施主：丹羽郡大口町）



北東側外観



遊戯室

循環型林業について

本県の充実したスギ・ヒノキ林の資源量は約3,300万m³と豊富です。この資源を活用すれば、外国からの木材の輸入に頼らず、私たちの生活に木造建築や木製品を増やしていくことができます。

名古屋市を中心とした大消費地と三河地方を中心とした森林資源の生産地を共に抱える特性を生かし、森林資源を持続的に活用していくため、「伐る・使う→植える→育てる」循環型林業の推進に取り組んでいます。この循環型林業は、SDGsの理念を体現し、持続可能な社会の実現に貢献するもので、「伐る・使う」ことで森林資源を活用するとともに、「植える、育てる」ことで森林資源を持続的に活用することが可能となります。

また、循環型林業を推進することで森林の整備が促進され、雨水を貯留したり洪水を緩和する水源涵養機能や土砂の崩壊を防ぐ山地災害防止機能、二酸化炭素を吸収し地球温暖化の防止に貢献する地球環境保全機能といった森林の持つ公益的機能が発揮されます。



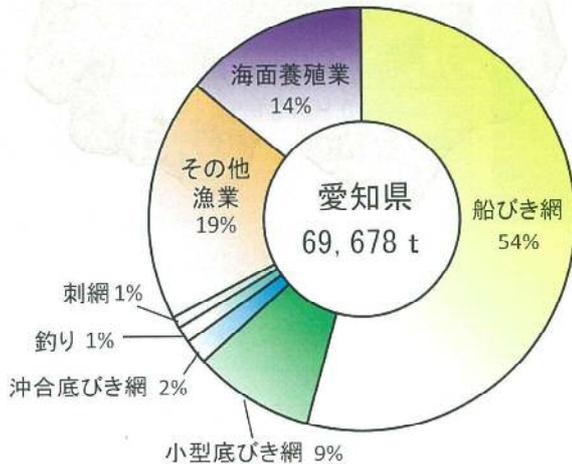
循環型林業のイメージ

11 水産業

伊勢湾・三河湾は古来より魚介類の宝庫として知られ、我々の祖先も古くから豊かな海の恵みを楽しんできました。現在でも本県は、総生産量こそ全国中位ではありますが、多くの魚種において全国有数の産地となっており、沿岸域を中心に、特色ある水産業が営まれています。

漁業生産の状況

海面漁業・養殖業の種類別生産量(2019年)



2019年の海面漁業・養殖業生産量は69,678tで、全国1位の漁獲量を誇る「船びき網漁業」が約5割、全国4位の「小型底びき網漁業」が約1割を占めています。

海面養殖業の大半は、全国7位ののり養殖業です。

魚種別漁獲量では、あさり、くるまえば、がざみ、くろだいが全国1位、しらすとにぎすが2位となっています。

内水面の養殖業生産量では、あゆが全国1位、うなぎときんぎょが全国2位となっています。

主要な漁業

● 船びき網漁業

一つの網を2隻の船でひき、しらすなどいわし類を漁獲します。伊勢湾・三河湾や渥美外海で漁を行います。



● 小型底びき網漁業

海底に下ろした漁具を船でひき、海底に生息する魚介類を漁獲します。伊勢湾・三河湾や渥美外海で漁を行います。



● 採貝漁業

干潟域に生息するあさりなどの二枚貝をマンガ(写真参照)や手堀りなどで漁獲します。伊勢湾・三河湾の沿岸域が主要な漁場です。



● のり養殖業

秋にのりの種を付けた網を張り、冬から早春にかけて養殖を行います。収穫したのりは、板のりに加工して出荷します。伊勢湾・三河湾の沿岸域で行われています。



あさり



- ①産出額 1,527百万円(あさり類)
- ②漁獲量 3,880t(あさり類)
全国1位(シェア48.6%)
- ③主な生産地
田原市、西尾市、常滑市
- ④ 小型底びき網や採貝漁業で漁獲され、愛知県は長年にわたり漁獲量全国1位を誇っています。県では、干潟・浅場や貝類増殖場の造成などにより資源の増大に取り組んでいます。

しらす



- ①産出額 6,746百万円
- ②漁獲量 11,433t
全国2位(シェア19.1%)
- ③主な生産地
南知多町、碧南市、田原市
- ④ 春から秋にかけて船びき網で漁獲される、いわし類(主にかたくちいわし)の稚魚で、愛知県の漁獲量は全国2位です。特に南知多町の篠島で多く水揚げされています。

くるまえばい



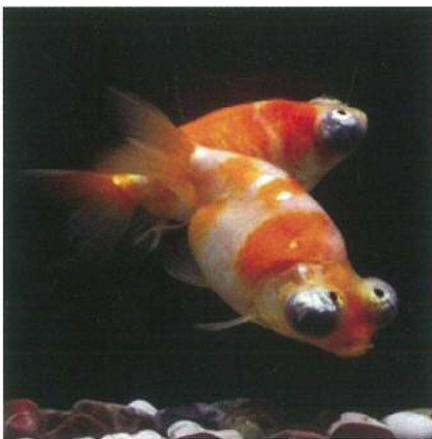
- ①産出額 345百万円
- ②漁獲量 83t
全国1位(シェア25.9%)
- ③主な生産地
西尾市、蒲郡市、南知多町
- ④ 小型底びき網や刺網などで漁獲され、愛知県の漁獲量は全国1位です。県の栽培漁業センターではたくさんの稚えびを生産し、漁業者が海に放流して、資源を増やしています。「県の魚」に定められています。

養殖うなぎ



- ①産出額 15,330百万円
- ②生産量 4,357t
全国2位(シェア25.5%)
- ③主な生産地
西尾市、豊橋市、高浜市
- ④ 愛知県は全国2位のうなぎの産地で、ビニールハウス加温飼育がいち早く普及し、柔らかな美味しいうなぎが生産されています。地域団体商標を獲得した「一色産うなぎ」、「豊橋うなぎ」、碧海地区の3つの産地があります。

きんぎょ



- ①産出額 324百万円
- ②生産量 6,547千尾 全国2位
- ③主な生産地
弥富市、飛島村
- ④ 弥富市を始め海部地区の4市町村で養殖されており、江戸時代末期からの歴史があります。品種が多いのが特徴でその数は20以上。2020年には県の水産試験場が新たな品種「サクラチョウテンガン」を開発し、普及に取り組んでいます。

がざみ



- ①産出額 155百万円
- ②漁獲量 532t
全国1位(シェア24.1%)
- ③主な生産地
南知多町、常滑市、西尾市
- ④ 小型底びき網やカゴなどで漁獲され、愛知県の漁獲量は全国1位です。県の栽培漁業センターで生産した稚がにを漁業者が放流して、資源を増やしています。「わたりがに」とも呼ばれ、秋頃に漁獲量が増え、身が詰まっておいしい旬の時期となります。

12 農林水産業の多面的機能

日本の農林水産業や農山漁村は、農林水産物の供給だけでなく、国土や自然環境の保全、良好な景観の形成、自然とのふれあいを通じた教育の場の提供、地域色豊かな文化の伝承など様々な働きを持っています。

このような様々な働きを「多面的機能」といいます。この「多面的機能」は、私たちすべての大切な財産であり、これを維持・発揮させるためにも、農林水産業を継続することが大変重要です。

愛知県における農業の多面的機能の評価額

項 目	評価額(億円/年)
保健休養・安らぎの場の提供	1,373
洪水の防止	754
水資源のかん養	109
土壌浸食の防止	59
有機物の還元	7
気候の緩和	4
合 計	2,306

愛知県における森林の多面的機能の評価額

項 目	評価額(億円/年)
表面浸食防止	2,508
水質浄化	1,946
水資源貯留	1,217
表層崩壊防止	749
洪水緩和	677
保健・レクリエーション	200
二酸化炭素吸収	136
化石燃料代替	111
合 計	7,544

※日本学術会議の答申を基に2000年に試算。項目については、一部わかりやすい表記としました。
 ※多面的機能にはこのほかに、伝統文化の継承など貨幣換算できない機能があります。

● 水源をかん養し、土砂の流出を防ぎます

森林や水田は「自然のダム」ともいわれています。雨水を徐々に下流に流すことによって、地下水をかん養し、洪水を防いだり、土砂の流出を防止したりしています。また、水田や畑には有機物を植物が吸収できるように分解する機能や、気候を緩和する機能、森林には水質を浄化する機能や防風などの働きもあります。



● 環境の保全や多様な生物が生息する場を提供しています

水田や畑、森林には光合成により二酸化炭素を吸収し、貯蔵することで、地球温暖化を防止する機能や、多様な動植物が生息・生育する豊かな生態系をはぐくむ自然空間を形成・維持しています。自然と調和した農林水産業を継続することは、地域固有の歴史がはぐくんできた「生物の多様性」の保全に役立ちます。



● 伝統文化を継承しています

その土地ごとの気候や植生など「風土」に適した形の暮らしや農林漁業の営みから、多くの知恵や技、そして「文化」が生まれ、受け継がれてきました。

こうした文化はそれぞれの地域固有の文化の伝承に大きな関わりを持っています。



● うるおいと安らぎ、学習の場を提供します

農林水産業は、自然とのふれあいの場や安らぎの場を提供します。健康の維持・増進やレクリエーション活動の場としての機能や農作業体験など、こどもたちの自然やいのちにふれる学習の場として、活用されています。このような、心なごむ景観は、農林水産業を営むことで保たれています。



13 あいちの農林水産業を応援しよう

愛知県の農林水産業を盛り上げるため、愛知県では、県産農林水産物をもっと食べていただくための取組や、県産農林水産物のさらなるブランド力強化、農林水産業と触れ合える機会の提供など様々な活動を行っています。

これらの取組やイベントの情報は、ホームページやSNSなどで発信していますので、ぜひチェックしてみてください。

いいともあいち運動

「いいともあいち運動」は、愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

また、県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと食べていただきたい(利用していただきたい)という、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

これらの趣旨に賛同していただける方を随時、募集中です。あなたも、応援団の仲間に加わりませんか。



いいともあいち運動の詳細は、こちらから見る事ができます。

企業・団体向け

いいともあいちネットワーク

地産地消に取り組む会員同士が情報交換をしたり交流を深めたりできるネットワーク。

会員数は1688
(令和2年12月現在)



販売店・飲食店向け

いいともあいち推進店

県産農林水産物の販売や利用に力を入れている店舗を登録しています。登録するとのぼりやステッカーなどの資材を使用できます。



一般消費者の方へ

いいともあいちサポーター

地産地消に関するイベントやお得な情報をメールでお届けします。登録は無料で、何かをお願いすることはありません。



WebサイトやSNSによる広報

愛知県農林水産部門
Webサイト



<https://www.pref.aichi.jp/nousei/>



愛知県農林水産部門(農業水産局・農林基盤局)の公式Webサイトです。記者発表資料や農林水産業に関する政策、統計資料などを公開しています。

愛知県農林水産部門
Twitter @nourinse



愛知県の農林水産業に関する取組やイベントに関する情報などをリアルタイムで提供しています。

愛・地産アラカルト



愛知県の伝統野菜や、伝統野菜を使用したレシピの紹介をしています。また、農作物カレンダーでは旬の野菜が一目で分かるようになっています。

14 参考資料

愛知県農業の主要指標(2019年)

区 分	単 位	愛 知 県			全 国		資 料	備 考	
		2014年	2019年	2019年/2014年	2019年	2019年/2014年			
農家戸数	戸	73,833	61,039	82.7	1,747,414	81.1	※出典資料の作成年次の関係で、データの詳細は以下のとおり。 2019年値 ⇒2020農林業センサス(概数値) 2020年2月 2014年値 ⇒2015農林業センサス 2015年2月	農家戸数 総世帯数	
農家率	%	2.4	2.0	—	3.3	—			
販売農家	戸	35,068	25,873	73.8	1,027,867	77.3			
専業農家	戸	11,105	—	—	—	—			専業農家 販売農家戸数
専業農家率	%	31.7	—	—	—	—			
主業農家	戸	8,754	—	—	—	—			主業農家 販売農家戸数
主業農家率	%	25.0	—	—	—	—			
自給的農家	戸	38,765	35,166	90.7	719,547	87.2			専業農家数、主業農家数、農業就業人口については2020年農林業センサス概数値では調査結果なし
農業就業人口	人	63,736	—	—	—	—			
基幹的農業従事者	人	55,332	39,911	72.1	1,360,674	77.6			
女性の割合	%	47.1	44.6	—	39.7	—			
うち65歳以上	人	35,132	26,326	74.9	949,175	83.8			
65歳以上の割合	%	63.5	66.0	—	69.8	—			
基幹的農業従事者平均年齢	歳	66.6	67.3	—	67.8	—			
耕地面積	ha	77,400	74,200	95.9	4,397,000	97.3	耕地面積調査 2019年7月	耕地面積 総面積	
耕地面積率	%	15.0	14.5	—	11.8	—			
1戸当たり平均耕地面積	ha	1.05	1.22	115.8	2.52	120.0			
水田面積	ha	43,800	42,100	96.1	2,393,000	97.4			
畑面積	ha	33,500	32,100	95.8	2,004,000	97.3			
水田率	%	56.6	56.7	—	54.4	—		水田面積 耕地面積	
農業振興地域面積	ha	183,964	182,977	99.5	—	—	農業振興課資料 2019年		
農振地域内農用地区域面積	ha	68,753	67,107	97.6	4,680,000	98.7			
農業産出額	億円	3,010	3,115	103.5	90,558	108.3	生産農業所得統計 2018年	野菜、果実、花き	
構成比 米	%	8.3	9.5	—	19.2	—			
構成比 園芸	%	57.9	60.0	—	38.3	—			
構成比 畜産	%	30.1	27.8	—	35.7	—			
農作物作付延べ面積	ha	70,800	67,700	95.6	4,019,000	96.9	作付面積調査 2019年	花き・花木・種苗等 作付延べ面積 耕地面積	
稲	ha	29,300	27,500	93.9	1,469,000	93.3			
野菜	ha	17,400	—	—	—	—			
果樹	ha	5,000	—	—	—	—			
花き等	ha	4,630	—	—	—	—			
耕地利用率	%	91.5	91.2	—	91.4	—			
施設園芸栽培延べ面積	ha	3,849	3,867	100.5	—	—			2019年値 ⇒2018園芸用施設の設置等の状況
乳用牛飼養頭数	頭	27,200	22,600	83.1	1,352,000	98.6	畜産統計調査 2020年2月	豚及び採卵鶏飼養羽数については、農業センサスのため調査結果なし。 採卵用成鶏めす	
肉用牛飼養頭数	頭	44,100	41,200	93.4	2,555,000	102.7			
豚 飼養頭数	頭	349,900	352,700	100.8	9,156,000	96.0			
採卵鶏飼養羽数	千羽	6,964	7,019	100.8	141,792	106.2			

愛知県林業の主要指標(2019年)

項 目	単位	愛知県			全 国 2019年(度)	摘 要
		2014年(度) X	2019年(度) Y	Y/X (%)		
土地面積(A)	ha	516,983	517,002	100.0	37,798 千	土地面積は、国土地理院 「全国都道府県市区町村別面積調」
森林面積(B)	ha	218,913	218,053	99.6	25,048 千	
(森林率: B/A)	%	(42.3)	(42.2)	-	(66.3)	
面積(C)	ha	207,277	206,603	99.7	17,389 千	森林面積及び民有林の全国値は 2018年3月31日現在
(民有林率: C/B)	%	(94.7)	(94.7)	-	(69.4)	
面積(D)	ha	206,704	206,050	99.7	17,341 千	
人工林面積(E)	ha	131,522	131,103	99.7	7,903 千	
天然林面積	ha	70,188	69,967	99.7	8,719 千	
蓄積(F)	千m ³	46,567	49,085	105.4	4,010 百万m ³	
人工林蓄積(G)	千m ³	37,500	39,777	106.1	2,793 百万m ³	
素材生産量	千m ³	116	139	119.8	21,640	愛知県及び全国値は2018年度 但し、愛知県素材生産量を除く ※乾しいたけに換算(乾+生×0.15)
製材品出荷量	千m ³	82	69	84.1	9,202	
しいたけ生産量※	トン	101	114	112.9	13,081	
林 家 戸 数	戸	(2010年) 13,766	(2015年) 12,641	91.8	(2015年) 828,973	2010年 世界農林業センサス 2015年 農林業センサス
林 業 従 事 者	人	(2013年) 539	(2018年) 558	103.5	(2018年) 70 千	林業労働者就労動向調査 全国は、森林・林業統計要覧
林 業 産 出 額	億円		(2018年) 30	103.3	(2018年) 5,020	生産林業所得統計

愛知県水産業の主要指標(2019年)

区 分	単 位	愛 知 県			全 国		資 料
		2014年	2019年	19年/14年	2019年	19年/14年	
海面漁業経営体	経営体	2,348	1,924	81.9	79,067	83.7	出典資料の作成年次の関係で、データの詳細は以下の通り
海面個人経営体	経営体	2,261	1,849	81.8	74,526	83.3	
海面漁業就業者数	人	4,319	3,373	78.1	151,701	83.8	2019年値 ⇒2018年漁業センサス
内水面養殖経営体	経営体	290	214	73.8	2,704	86.4	2014年値 ⇒2013年漁業センサス
漁 船 総 隻 数	隻	5,222	4,260	81.6	225,276	87.6	2014/2019年漁船統計表
漁 業 総 生 産 量	t	102,396	75,514	73.7	4,194,675	88.0	2014年/2019年農林水産統計 ※総生産量のうち、全国には捕鯨を含まない ※内水面漁業のうち、愛知県は県水産課調べ ※内水面養殖業はきんぎょを含まない
海 面 漁 業	t	80,949	59,934	74.0	3,228,025	86.9	
海 面 養 殖 業	t	14,906	9,744	65.4	913,775	92.5	
内 水 面 漁 業	t	319	111	34.8	21,767	71.1	
内 水 面 養 殖 業	t	6,222	5,725	92.0	31,108	91.8	
漁 業 総 産 出 額	百万円	38,182	38,944	102.0	1,533,456	102.0	2014年値 ⇒2014年農林水産統計
海 面 漁 業	百万円	16,735	17,297	103.4	937,871	97.0	2019年値 ⇒2018年農林水産統計
海 面 養 殖 業	百万円	4,525	3,587	79.3	486,064	109.4	※総産出額および海面漁業のうち、全国には捕鯨を含む
内 水 面 漁 業	百万円	441	311	70.5	18,453	104.0	※内水面漁業のうち、愛知県は県水産課調べ
内 水 面 養 殖 業	百万円	16,480	17,750	107.7	91,068	121.2	※内水面養殖業のうち、愛知県はきんぎょを含む

※小数第1位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。
※愛知県の内水面の産出額については、県水産課が全国平均単価を基に推計した。

よくわかるあいちの農林水産業 2021

2021年3月発行

愛知県農業水産局農政部農政課

〒460-8501

名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話 (052)954-6391

FAX (052) 954-6928

URL <https://www.pref.aichi.jp/nousei/>

E-mail nousei@pref.aichi.lg.jp

主要農産物の産出額状況(2019年) P7 ~ P15

「よくわかるいちの農林水産業2021」の各ページの品目別産出額は2018年値となっていますが、品目別産出額の2019年値データを入手しましたので、最新のデータにつきましてはこちらを参考にしてください。

本冊 ページ 番号	品目	産出額			本冊 ページ 番号	品目	産出額		
		億円	%	全国順位			億円	%	全国順位
P7	米	298	1.7	22	P10	もも	8	1.4	8
	小麦	8	1.9	5		ぎんなん	3	50.0	1
	大豆	10	2.8	12	P11	茶	14	2.7	8
P8 P9	キャベツ	185	20.3	1	P12	きく	223	37.4	1
	トマト	151	7.0	3		洋らん	49	13.8	1
	しそ	133	72.7	1		観葉植物	43	37.1	1
	いちご	85	4.6	8		ばら	23	14.7	1
	ブロッコリー	32	6.6	6	P13	カーネーション	19	19.2	2
	なす	30	3.5	7		花き苗類	19	6.1	3
	ふき	9	34.6	1		シクラメン(鉢)	7	10.1	1
	とうがん	2	22.2	2	P14 P15	豚	223	3.6	9
れんこん	11	5.4	4	鶏		227	2.6	13	
P10	みかん	79	5.1	7		(うち鶏卵)	185	4.0	7
	ぶどう	35	2.3	7		乳用牛	223	2.4	7
P11	かき	25	6.3	5		(うち生乳)	187	2.5	8
	いちじく	19	24.7	1		肉用牛	108	1.4	19
なし	13	1.9	18	うずら卵		30	62.5	1	
					名古屋コーチン	17	-	1	
					養蜂	3	3.7	7	